

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-522747(P2004-522747A)

【公表日】平成 16 年 7 月 29 日 (2004.7.29)

【年通号数】公開・登録公報 2004-029

【出願番号】特願 2002-560585(P2002-560585)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/72

A 6 1 P 9/04

C 0 7 C 43/225

C 0 7 C 51/09

C 0 7 C 51/363

C 0 7 C 53/18

C 0 7 C 57/30

C 0 7 C 67/08

C 0 7 C 69/712

【F I】

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 9/48

A 6 1 K 9/72

A 6 1 P 9/04

C 0 7 C 43/225 A

C 0 7 C 51/09

C 0 7 C 51/363

C 0 7 C 53/18

C 0 7 C 57/30

C 0 7 C 67/08

C 0 7 C 69/712 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 20 日 (2005.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

薬学的に許容されるキャリア中に有効治療投与量の 3, 5 - ジョードチロプロピオン酸を含むことを特徴とする、うつ血性心不全の患者を治療するための組成物。

【請求項 2】

液体製剤、固体製剤、カプセル製剤および移植製剤から成る群の中から選択される配合物の形をした請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

安定剤、賦形剤、可溶化剤、抗酸化剤、痛み緩和剤および等張剤の少なくとも１種をさらに含む請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

薬学的に許容されるキャリア中に有効治療投与量の 3 , 5 - ジヨードチロプロピオン酸を含むことを特徴とする、患者の血中コレステロール濃度を下げることの組成物。

【請求項 5】

液体製剤、固体製剤、カプセル製剤および移植製剤から成る群の中から選択される配合物の形をした請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

安定剤、賦形剤、可溶化剤、抗酸化剤、痛み緩和剤および等張剤の少なくとも１種をさらに含む請求項 4 または 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

下記段階から成る 3 , 5 - ジヨードチロプロピオン酸の合成方法：

(1) エチル - 3 - (3 , 5 - ジヨード - 4 - ヒドロキシフェニル) プロピオネートとジアニソールヨードニウムトリフルオロ酢酸とを反応させてエチル - 3 - (4' - メトキシ - 3 , 5 - ジヨードチロ) プロピオネートを作り、

(2) 得られたエチル - 3 - (4' - メトキシ - 3 , 5 - ジヨードチロ) プロピオネートとヨウ化水素および氷酢酸とを反応させて 3 , 5 - ジヨードチロプロピオン酸を作る。

【請求項 8】

出発材料のエチル - 3 - (3 , 5 - ジヨード - 4 - ヒドロキシフェニル) プロピオネートを、3 - (4 - ヒドロキシフェニル) - プロピオン酸をヨウ素と反応させ、得られた (3 , 5 - ジヨード - 4 - ヒドロキシフェニル) - プロピオン酸をエタノールと反応させて作る請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

発煙硝酸、ヨウ素およびトリフルオロ酢酸を反応させてヨード(III)トリフルオロ酢酸を作り、得られたヨード(III)トリフルオロ酢酸をアニソールと反応させてジアニソールヨードニウムトリフルオロ酢酸を作る請求項 7 に記載の方法。